

平成23年度NPO等からの協働事業提案 Bコース(申請額:300万円超1,000万円以下)プレゼン実施団体

	提出団体名	事業名称	事業概要(提案者作成を転記)
1	特定非営利活動法人 神社みなとまち 再生グループ	歴史ある港が今、よみがえる事業	宇治山田港のみなとまちづくりを推進するために不法係留船の撤去、保管場所の確保、浮桟橋の整備など安全な港湾整備を進めるとともに、港町風情を活かしたまちづくりとともに、環伊勢湾の交流の復活、宇治山田港から外宮までの勢田川歴史観光交流軸としたネットワークの形成による魅力ある観光交流空間づくりを行う。
2	特定非営利活動法人 伊勢志摩さいこう会	「電力・エネルギー危機対策・ 実践プロジェクト(鳥羽版)」 ～節電所建設と創電の 実行プラン策定～	3.11の福島原発事故～5.09の浜岡原発停止をきっかけに、原発ドミノ停止による、電力不足危機への対応として、市の主幹産業である、観光(年間入込客数454万人、宿泊者数197万人、宿泊施設収容能力18,840人/日)産業と水産業及び公的施設に焦点を当て、その経済的リスクの低減と観光地サービス産業の節電とサービス提供のあり方を確立するとともに経営合理化と雇用の継続を図るため、以下のモデル事業を実施。 1.節電所建設 モデル事業 電力危機対応への一つの解として、節電に対しては「節電所」建設という考え方で掘り下げ、関係者との協働の下、調査・開発・実施・検証し、鳥羽版節電モデルを確立する。 2.再生可能なエネルギーで、地産地消の創電(雇用の創出)の可能性に対する予備調査を実施する。 節電所:物理的な発電所を建設せずに、節電により電力を生み出す考え方。
3	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会	里山総合利用の 循環モデル事業の推進 ～「マツタケ再生センター」の設立	<事業の概要> ・広く市民から寄付を募り「一般財団法人伊賀マツタケ再生センター(仮称)」を設立する(目標額=500万円)。 ・財団法人は、伊賀地域にかつて多く分布していた「マツタケが収穫できるアカマツ林の復活」、および、「マツタケ産品の6次産業的活用」を中心とした、下記のような里山保全活動を支援する(実際に里山の保全活動を実施するのは、各地区のまちづくり協議会や、NPO・市民ボランティア団体等)。 <支援の例> = 里山の自然環境保全の重要性および、その象徴としてのアカマツ林復活に関する調査・研究および広報 = 里山保全の活動公募、関連団体(国際ワークキャップ組織、NPO、市民団体等)との連携による活動担い手の公募、助成支援 保全活動に必要な権利関係の調整(県、市町村等公的機関との連携)、機材・備品の貸与、専門家・技術者の派遣・研修事業等の実施 何故、マツタケなのか? マツタケは秋の味覚の王様であり、多くの人を引き付ける“力”を持っているが、人工生産の技術が確立されていない、赤目や伊賀は高品質マツタケの産地として全国的に有名であり、現在も築地市場にも出荷され産品は高値で取引されている=地域の誇る高付加価値商品。ただし、現在では、アカマツ林の荒廃により産出量は激減している。
4	特定非営利活動法人 みないせ市民活動ネット	「古民家を再生して地域再生コアとなる図書館を設立する」プロジェクト実現のための地域づくりの事業	「古民家を再生して地域再生コアとなる図書館を設立する」プロジェクト実現のための地域づくりの事業
5	特定非営利活動法人 伊賀の伝丸	災害にも強い多文化共生 地域づくり事業	「言葉・文化・習慣の違う人々が、日常の付き合いを通し、災害時にも協力し、助け合える関係を築く」ことを事業目的とする。外国人登録者数が、全住民の11%を超える伊賀市小田町(住民自治協議会)をモデル地区とし、住民自治協議会・外国人住民・地元企業・三重県・伊賀市・日本語ボランティアグループなどとの協議で、防災を切り口にコミュニケーションの強化を進める。
6	特定非営利活動法人 みんなのクラブネット三重	「健康増進、介護予防のための『元気づくりシステム』(いなべモデル)の普及活動による地域活性化事業」	当NPOの加盟クラブである(社)元気クラブいなべが、運用している『元気づくりシステム』(健康増進と介護予防を一体化し、元気づくりを体験するプログラム)を、「いなべモデル」として、県内をはじめ、全国各地に普及させる。具体的には、「元気クラブいなべのシステムエビデンス」(公衆衛生学会報告等)を利用したうえで、三重県いなべ市でモデルを展開しつつ多様な主体と協働し、当NPOが核となって、視察・導入・フォローアップ研修事業等を実施する。さらに、地域自治体と団体及び地域住民が協働して事業を展開していくこのモデルの「マニュアル化」を図り、それをアピールしていくことにより、三重県内のみならず、全国へ普及させ、国民的元気づくりに資することとする。
7	特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリー ツアーセンター	日本一のバリアフリー観光づくり	本事業の目的は、三重県を日本一のバリアフリー観光県とすることによる、県内観光各地の集客振興と、三重県のノーマライゼーション化の社会的実現である。伊勢志摩でのバリアフリー観光推進の実績と、全国のバリアフリー観光地が採用する「バリアフリー基準」の開発および指導者としての実績をもって、三重県全域の観光施設および宿泊施設を対象に、調査、アドバイスするとともに、障がいのある旅行者からの相談に全県をカバーして受け、トラブルなく紹介斡旋する。また、その過程と実現により、地域社会のノーマライゼーション化を図る。

平成23年度NPO等からの協働事業提案 Bコース(申請額:300万円超1,000万円以下)プレゼン実施団体

	提出団体名	事業名称	事業概要(提案者作成を転記)
8	特定非営利活動法人 Mブリッジ	～スゴイことを「スゴイ!」と みんなでほめる三重県へ!～ ステークホルダーと共感する 「新・企業価値創造事業」	企業が行っている「地域のための活動・事業」について「調査・称賛・広報」を行う事業です。CSR全体の中の戦略的CSRと言われる部分に着目します。戦略的CSRとは、課題解決の取組み、地域の魅力を活かした商品開発、NPOとの連携、地域活性化事業、プロボノ活動の推奨、本業を通じた社会貢献などです。この分野に特化することで、消費者が最も求める情報を提供することができ、地域づくりを理解する消費者、地域づくりに参画する企業を増やします。
9	特定非営利活動法人 人材育成センター	地域と密着した多文化共生 の社会づくり	地域と密着した多文化共生の社会づくりをするために、これまで培ってきた外国人向け職業訓練の経験とノウハウを生かし、県内の外国人に適切な就労支援を行う。具体的には就労のための情報を提供するとともに、日本で働く上での日本語基礎及びビジネスマナー教育やパソコン操作などの職業訓練、企業や農業法人で体験実習をすることで日本文化と就業スキルについて理解を深める
10	特定非営利活動法人 愛伝舎	多国籍児童生徒の 放課後学習支援事業	公立小中学校や高校に通学する外国籍児童生徒を対象として、学習言語の獲得を目標とする学習支援を行う。算数(数学)、国語の2教科(中高生は英語を入れて3教科)を中心とし、問題文章の論理的な展開を理解できるようにし、類似する語彙を使い分けられる運用力をつける。中高生には進学できる学力をつけることを目標にする。そして母国と日本の架け橋となっていく人材を育成したい。
11	特定非営利活動法人 MCサポートセンター	乳幼児揺さぶられ症候群 予防啓発プロジェクト	全国に先駆けて医療・福祉・保健の分野で協力して、乳幼児ゆさぶられ症候群予防教育DVDを用いた予防教育の体制を整え、実施・展開する。(揺さぶられ症候群予防教育 三重モデル) また医療・福祉・保健の現場のみでなく、インターネットを活用することにより、広く県民、国民がいつでも乳幼児揺さぶられ症候群を学び、予防啓発へとつながるよう予防教育DVDを視聴できるようにホームページの開設・整備を行う。
12	特定非営利活動法人 津市NPO サポートセンター	地域課題解決型 インターンシッププログラム コミュプロ	私たちは、インターンシップを活用してNPO・行政・企業・大学など多様な機関が協働し、地域全体で新しい公共を担っていくために必要な「地域の課題を把握し解決のために行動できる人材」を育む仕組みを提案します。育成のメインターゲットは大学生です。コミュニティビジネス事業者やNPO等、地域課題と密に関わる組織でのインターンシップを通じて、各地域特有のニーズに直接接し、その解決のために何をすべきかを考え、社会人になってからも、学生時代に触れた地域課題を忘れずにその解決に向かって働く人材を育て地域に送ります。
13	特定非営利活動法人 市民社会研究所	働きたいのに働く場がない人のための 「北勢地域・敷居のない 仕事づくりセンター」の設立	働きたいのに働く場がない人のための「北勢地域・敷居のない仕事づくりセンター」の設立
14	特定非営利活動法人 スポーツクラブどんぐり	三重っ子!元気・わくわくプロジェクト	幼少期の教育3本柱「徳育、体育、知育」に関し、特に「徳育、体育」面にお役に立てる協働事業提案 「三重っ子!元気プログラム」構築と出前教室の開催 遊びの要素が入った「三重っ子!元気プログラム」構築しその実践を通じて、子どもたちに体を動かすことの楽しさを感じてもらいながら、基礎体力の向上、友達とのコミュニケーションの取り方を育む。 「三重っ子!元気リーダー」講習会の企画及び開催 子どもたちの健全な将来に大きな影響を及ぼす指導者たちに、上記プログラムの実践体験を通して1.出前教室の理解と普及2.運動メニューの紹介3.参加者の情報交換と交流4.コーチング技術の向上、を目的とする場を設定し、開催する。 わくわく教室の企画及び開催(三重っ子!わくわくティーチャー派遣) 夢を実現した人、実現しようとしているアスリート、アーティストが、目標を失わず、仲間を支え合いながら挫折を乗り越え、最後まで諦めずに頑張っている生の声を子どもたちに伝え「夢を持つことの大切さ」と仲間と協力することの大切さ「楽しんで続けることの大切さ」が学べる授業・講演会が、三重県出身者や三重県で活躍している人による授業・講演会として組織的に提供できる仕組みを構築・運営する。